

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
健康科学		基礎科目	Ⅱ部2年	演習	15	1
担当教員		実務経験				
弘 美佐子						
講義概要						
各種代替医療について学習する。 メディカルアロマ、スポーツアロマ、リンパ浮腫ケアを学習する。						
講義目標						
【一般目標】	全身の骨格・筋肉の解剖学を理解する。					
	スポーツアロマを理解する。					
	リンパ浮腫ケアを理解する。					
【行動目標】	全身の骨格・筋肉の名称・役割を列挙できる。					
	アスリートに対するアロマセラピーの適応と禁忌を列挙できる。					
	リンパ浮腫に対するアロマセラピーの禁忌と適応を列挙できる。					
回数	授業内容					
1	スポーツアロマ禁忌					
2	肥満と運動					
3	リンパ浮腫ケアとは					
4	リンパ系の解剖生理					
5	リンパ浮腫ケア実践					
6	オイルトリートメントトータルケア実践					
7	オイルトリートメントトータルケア実践					
8	まとめ / 講義内試験					
指定教科書			参考図書			
精油テキスト アロマセラピーテキスト			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績：前期50%＋後期50%＝100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる バスタオル、ハンドタオル（お風呂で体を洗うサイズのもの） ※精油の取扱いは必ず教員の指示に従うこと 連絡先：bodymall.335@gmail.com			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医学概論	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員	実務経験				
佐加良 英治					
講義概要					
チーム医療が不可欠な現代医学において、コメディカルである理学療法士は可能な限り幅広い医学知識を持つ必要があり、またもつことを要求される。この講義は理学療法士に必要なメディカルコモンセンスを解説するものである。後期は特にパンデミック対策として微生物学や感染症の対応を学習する。					
講義目標					
【一般目標】	病気の原因と病態を理解する 感染症を引き起こす微生物の概要を理解する 細菌学の概要を理解する ウイルス学の概要を理解する 感染症の予防と対策を理解する				
【行動目標】	病気を病因ごとに分類し、その病態の概要を説明できる 細菌を分類し、個々の細菌の特徴を概説できる ウイルスを分類し、個々のウイルスのリスクを概説できる 真菌を分類し、個々の真菌のリスクを概説できる				
回数	授業内容				
16	病因・病態(1)				
17	病因・病態(2)				
18	病因・病態(3)				
19	微生物学総論・分類				
20	化学療法				
21	細菌学(1)				
22	細菌学(2)				
23	細菌学(3)				
24	DNAウイルス				
25	RNAウイルス(1)				
26	RNAウイルス(2)				
27	真菌学(1)				
28	真菌学(2)				
29	肝炎ウイルス、新興/再興感染症、ワクチン、滅菌/消毒				
30	後期講義の総括				
指定教科書			参考図書		
なし			新微生物学(日本医事新報社) シンプル微生物学(南江堂) 臨床微生物学(医歯薬出版)		
評定方法			準備物・注意事項		
定期試験:前期50%+後期50%=100%【レポート課題を含む】			シラバスに従い、講義前にWeb等で予習を行うこと 受講後は学習内容を十分に復習すること 講義中に行う質問には解答できるようにしておくこと 質問用E-mailアドレス:hideharu@mra.biglobe.ne.jp		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
臨床医学		専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	30	1
担当教員		実務経験				
飯 春菜		回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
「老年医学」「予防医学」「栄養学」を理解し、臨床現場で活用できる知識を身に付ける。						
講義目標						
【一般目標】	五大栄養素の役割を理解する。					
	NSTの一員として働くために、リハビリテーション栄養の基礎知識について理解する。 高齢者の身体的特徴や疾患、それに対する予防策を複合的に理解する。					
【行動目標】	五大栄養素の役割を選択できる。					
	リハビリテーション栄養の評価・介入方法について選択できる。 高齢者の身体的特徴や疾患、それに対する予防策を選択できる。					
回数	授業内容					
8	老年医学：老年症候群 1					
9	老年医学：老年症候群 2					
10	薬理学：法律・投与経路と代謝					
11	薬理学：自律神経に作用する薬 1					
12	薬理学：自律神経に作用する薬 2					
13	薬理学：各種疾患治療薬 1					
14	薬理学：各種疾患治療薬 2					
15	まとめ					
指定教科書			参考図書			
なし			標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 老年学 リハベ－シツク 生化学・栄養学			
評定方法			準備物・注意事項			
成績：定期試験100%			生理学Ⅰ(老年医学)・病理学(栄養学)の資料 A4サイズのノート＋赤・青・緑のボールペン ※板書中心のため、ルーズリーフよりノートの方が良い			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
小児科学		専門基礎科目	Ⅱ部2年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
大野 京介		急性期病院において整形・中枢神経系理学療法中心に6年間従事。				
講義概要						
小児期障害に対する理学療法により正常発達を引き出し、異常発達を可能な限り抑制する。そのための、知識・方法を学ぶ。						
講義目標						
【一般目標】	小児に対する理学療法と成人後の障害に対する理学療法との相違点を知る					
	小児期障害の発生機序を知る					
	小児の発達は運動だけでなく視覚、聴覚、社会性など全体的にみる必要があることを理解する					
【行動目標】	小児に対する理学療法の考え方を記述できる					
	小児理学療法で対象となる疾患を列挙できる					
	小児期障害のそれぞれの定義や理学療法の方法を記述できる					
回数	授業内容					
9	脳性麻痺総論①					
10	脳性麻痺総論②					
11	痙直型脳性麻痺-両麻痺①					
12	痙直型脳性麻痺-両麻痺②					
13	痙直型脳性麻痺-四肢麻痺・片麻痺					
14	アテトーゼ型脳性麻痺					
15	講義内試験					
指定教科書			参考図書			
イラストでわかる小児理学療法			イラストでわかる小児理学療法演習			
評価方法			準備物・注意事項			
定期試験 100%			なし			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
整形外科学		専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
高橋 眞太郎		回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要						
運動器疾患の病理、病態を、正常な身体構造・心身機能と比較して学習する。 各疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後について学習する。						
講義目標						
【一般目標】		運動器疾患の病態や症状を解剖学的(画像所見を含む)、生理学的、病理学的に理解できる。 運動器疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後が理解できる。 主要な運動器疾患をもつ患者へ理学療法をおこなう際のリスク管理が想起できる。				
【行動目標】		整形外科における診断・治療・疾患の概略や、運動器の画像読影に対して記述および選択できる。 運動器疾患の病態や症状を解剖学的、生理学的、病理学的に説明および記述できる。 身体症状や整形外科的所見等から運動器疾患を選択できる。 運動器疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後を選択・記述・説明できる。				
回数	授業内容					
16	関節リウマチ① ＜概要、病理・病態、症状＞					
17	関節リウマチ② ＜検査、評価、治療＞					
18	関節リウマチの類縁疾患 ＜強直性脊椎炎等＞					
19	脊椎疾患各論① ＜椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症等＞					
20	脊椎疾患各論② ＜靱帯骨化症、分離すべり症、骨折等＞					
21	脊椎疾患各論③ ＜その他の脊椎疾患＞					
22	末梢神経損傷① ＜総論、腕神経叢麻痺、胸郭出口症候群等＞					
23	末梢神経損傷② ＜上下肢の末梢神経損傷等＞					
24	運動器の感染症（筋・骨・関節等）、骨代謝 ＜壊死性筋膜炎・化膿性関節炎等＞					
25	骨粗鬆症 石灰化障害 ＜内科疾患含む＞ ＜骨軟化症・くる病＞					
26	骨壊死、区画症候群、挫滅症候群 ＜骨端症等＞					
27	小児期疾患、骨化障害・骨系統疾患 ＜先天性内反足、軟骨無形成症、骨形成不全症等＞					
28	先天異常症候群 骨軟部腫瘍① ＜Marfan症候群等＞ ＜分類、診断等＞					
29	骨軟部腫瘍② ＜骨肉腫、転移性骨腫瘍、軟部腫瘍＞					
30	熱傷 ＜評価、分類、重症度、合併症、治療＞					
指定教科書			参考図書			
標準整形外科学			病気がみえるvol.11 運動器・整形外科 運動療法に役立つ 単純エックス線像の読み方 OS NEXUSシリーズ No.1～15			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%＋後期50%＝100%			講義ノート(講義時に配布予定)、3色(赤・青・緑)ボールペン、 3色(赤・青・緑)蛍光ペン、指定教科書を持参すること。 授業中は必ずメモをとること。			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
神経内科学		専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
鋤田 幸輔		介護老人保健施設・回復期リハビリテーション病院において中枢神経系理学療法を中心に12年間従事。				
講義概要						
神経疾患の病理、病態を理解する。各疾患の原因、症状、治療、予後について学習する。						
講義目標						
【一般目標】	神経疾患の症状を生理学的・病理学的に理解する。					
	神経疾患の原因、病態、症状、治療、予後を学習する。					
	神経疾患に対する理学療法におけるリスクを理解する。					
【行動目標】	神経疾患の症状を生理学的・病理学的に説明できる。					
	神経疾患の原因、病態、症状、治療、予後を記述および選択できる。					
	神経疾患の病態と症状を関連づけて説明できる。					
回数	授業内容					
16	前期末試験振り返り、後期オリエンテーション					
17	〔復習〕 大脳基底核 〔病態〕 錐体外路症状					
18	錐体外路疾患 : パーキンソン病ほか					
19	〔復習〕 小脳 〔病態〕 小脳症状					
20	脊髄小脳変性症 : 多系統萎縮症ほか					
21	脊髄疾患① 〔復習〕 伝導路					
22	脊髄疾患②					
23	運動ニューロン疾患 : 筋萎縮性側索硬化症ほか					
24	脱髄疾患 : 多発性硬化症、ギラン・バレー症候群ほか					
25	末梢神経障害					
26	神経筋接合部疾患① : 重症筋無力症ほか					
27	神経筋接合部疾患② : Lambert-Eaton症候群ほか					
28	筋疾患 : 炎症性疾患ほか、筋電図					
29	中毒・代謝性疾患、感染症ほか					
30	後期まとめ					
指定教科書			参考図書			
病気がみえる⑦脳・神経			メディカルスタッフ専門基礎シリーズ 脳神経内科学 新 病態生理でできた内科学7神経疾患			
評定方法			準備物・注意事項			
【講義に関する注意事項】に準じて減点する 定期試験:前期50%+後期50%			指定教科書と配布資料を忘れずに持参すること。			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
内科学		専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員		実務経験				
飯 春菜		回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
内科疾患の病理、病態生理を理解した上で、それぞれの疾患の症状、診断、治療について学習する。						
講義目標						
【一般目標】	各臓器の生理学的役割を理解し、各疾患に対するイメージをもつ。					
	主要な検査データを理解する。					
	主要な内科疾患をもつ患者へ理学療法をおこなう際、リスク管理ができる。					
【行動目標】	生理学、病理学、内科学の知識を関係付けて各疾患の病態や治療法を選択できる。					
	主要な内科疾患の検査法・検査データを選択できる。					
	主要な内科疾患の疫学、原因、病態生理、症状、治療法、予後を選択できる。					
回数	授業内容					
16	代謝性疾患 1 : 糖尿病					
17	代謝性疾患 2 : 糖尿病・脂質異常症					
18	消化管疾患 1 : 食道・胃の疾患					
19	消化管疾患 2 : 小腸・大腸の疾患					
20	腎・泌尿器疾患 1 : 腎不全					
21	腎・泌尿器疾患 2 : 腎不全					
22	肝胆膵疾患 1 : ウィルス性肝炎、肝硬変					
23	肝胆膵疾患 2 : 膵臓・胆嚢・胆道の疾患					
24	内分泌疾患 1 : 甲状腺・副甲状腺の疾患					
25	内分泌疾患 2 : 副腎の疾患					
26	血液疾患 1 : 赤血球・白血球系疾患					
27	血液疾患 2 : 血液凝固系疾患					
28	免疫系疾患 1 : 免疫不全、アレルギー					
29	免疫系疾患 2 : 膠原病					
30	まとめ					
指定教科書			参考図書			
なるほどなっとく！内科学			新・病態生理でできた内科学 1～9 病気がみえる 1～10			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験 前期50%＋後期50%＝100%			生理学Ⅰの資料 A4サイズのノート＋赤・青・緑のボールペン ※板書中心のため、ルーズリーフよりノートの方が良い			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法セミナーⅡ		専門科目	Ⅱ部2年	演習	30	1
担当教員		実務経験				
鋤田 幸輔		介護老人保健施設・回復期リハビリテーション病院において中枢神経系理学療法を中心に12年間従事。				
講義概要						
臨床において理学療法士に必要な基本的検査技術を演習を通じて再確認し習得する。						
講義目標						
【一般目標】	基本的な検査測定項目の意義・目的を理解する。					
	基本的検査測定における実施時の注意点やリスクを理解する。					
	基本的検査技術や臨床における心構え、臨床実習施設の特徴について理解する。					
【行動目標】	MMTにおける主動作筋・ROM-tにおける基本軸・移動軸・参考可動域について説明できる。					
	被験者に対して、各検査・測定が実施できる。					
	基本的検査技術や臨床における心構え、臨床実習施設の特徴についてまとめることができる。					
回数	授業内容					
1	オリエンテーション、形態測定					
2	MMT					
3	MMT					
4	MMT					
5	ROM-t					
6	ROM-t					
7	ROM-t					
8	実技試験					
9	実習に向けてのグループワーク					
10	実習に向けてのグループワーク（講義内課題①）					
11	実習施設についての学習（講義内課題②）					
12	触診					
13	MMT					
14	血圧・脈拍測定					
15	まとめ（講義内課題③）					
指定教科書			参考図書			
なし			PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 新・徒手筋力検査法			
評定方法			準備物・注意事項			
実技試験・講義内課題①②③全て25%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 水性ペン、メジャー、ゴニオなど講義に使用する物 体調不良等で実技が困難な場合は直ちに教員へ申し出ること 補助教員：高橋 眞太郎、内原 由佳子			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法評価学Ⅰ		専門科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	60	2
担当教員		実務経験				
辻 宏文		急性期病棟・維持期病棟・整形外科クリニックにて8年間従事。				
講義概要						
理学療法評価で用いる検査・測定の技術(関節可動域測定、バイタルサイン)について学習する。						
講義目標						
【一般目標】	検査・測定の意義と目的、方法や注意事項を理解する。					
	検査・測定の技術を習得する。					
	検査・測定の評価過程、結果を理解する。					
【行動目標】	検査・測定の意義と目的、方法や注意事項について記述または、選択できる。					
	被験者に対し、各検査・測定が実施できる。また検査・測定に伴う使用物品も正しく使用できる。					
	検査・測定の評価結果を記録または、述べることができる。					
回数	授業内容					
16	ROM測定 (股関節)					
17	ROM測定 (膝関節・足関節)					
18	ROM測定 (足部・足趾)					
19	ROM測定 (頸部)					
20	ROM測定 (胸腰部)					
21	実技試験演習					
22	実技試験演習					
23	実技試験					
24	ROM測定・形態測定 (下肢)					
25	バイタルサイン：脈拍測定・呼吸数					
26	バイタルサイン：血圧測定					
27	フィジカルアセスメント					
28	実技試験演習					
29	筆記試験・実技試験演習					
30	実技試験					
指定教科書			参考図書			
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学			理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 基礎PT学 PT・OTのための測定評価2 形態測定 感覚検査 反射検査			
評定方法			準備物・注意事項			
前期：実技試験35% 筆記試験15%＝50% 後期：実技試験35% 筆記試験15%＝50%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 配布プリントを綴じるA4ファイル 聴診器など講義で使用する物品（授業前に連絡します）			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法評価学Ⅱ		専門科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	60	2
担当教員		実務経験				
宮原 隆登		急性期病棟・外来リハビリ等で6年間従事。高校野球大会のサポート業務等も経験。				
講義概要						
理学療法評価で用いる徒手筋力検査法(以下MMT)について、学習し実践する。						
講義目標						
【一般目標】	MMTの意義、目的、方法、注意点等を理解する。 MMTの実技を通して学び、技術を習得する。					
【行動目標】	MMTの意義、目的、方法、注意点等を説明できる。 理学療法評価のMMTを、正しい手順で実施できる。 各検査の主動作筋、検査結果及びその解釈を説明できる。					
回数	授業内容					
16	オリエンテーション/前期実技テストの振り返り					
17	下肢MMT：股関節①					
18	下肢MMT：股関節②					
19	下肢MMT：股関節③					
20	下肢MMT：膝関節					
21	下肢MMT：足関節①					
22	下肢MMT：足関節②					
23	頭部・頸部MMT					
24	体幹MMT①					
25	体幹MMT②					
26	顔面筋・眼瞼の筋 MMT					
27	コアテスト					
28	講義内試験(30分～50分)/演習日					
29	演習日					
30	実技試験					
指定教科書			参考図書			
新・徒手筋力検査法			骨格筋の形と触察法 理学療法ハンドブック 理学療法技術ガイド			
評定方法			準備物・注意事項			
前期：実技試験35%＋筆記試験15%＝50% 後期：実技試験35%＋筆記試験15%＝50%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 実技練習・試験時は、安全に行えるよう細心の注意を払うこと			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法評価学Ⅲ		専門科目	Ⅱ部2年	講義	30	1
担当教員		実務経験				
田中 嵩樹		回復・療養型リハビリテーション病院において整形的理学療法中心に5年間従事。				
講義概要						
各種臨床検査の意義、病態との関連性を理解する。 正常な画像所見を理解する。						
講義目標						
【一般目標】	各種臨床検査の意義、異常時の病態を理解する。					
	代表的な疾患の臨床検査データと病態との関連性を理解する。					
	画像所見では正常を知ること、疾患学の理解につなげる。					
【行動目標】	各種臨床検査の結果から病態・症状を列挙できる。					
	臨床実習において担当症例の臨床検査データを読み取り、病態を説明できる。					
	各疾患学で画像所見を見た際に、正常との違いが説明できる。					
回数	授業内容					
1	検査についての基礎知識					
2	血液・凝固系の検査データ①					
3	血液・凝固系の検査データ②					
4	肝・胆・腎・膵系の検査データ①					
5	肝・胆・腎・膵系の検査データ②					
6	タンパク・酵素系の検査データ					
7	検査値の見方、前半まとめ					
8	ミネラルの検査データ					
9	ホルモン系・尿・腫瘍マーカー・免疫系の検査データ					
10	オリエンテーション、画像読解の基礎知識					
11	頭部画像①					
12	頭部画像②					
13	頭部画像③					
14	胸部画像					
15	画像の見方、後半まとめ					
指定教科書			参考図書			
なし			検査のしくみ検査値の読み方 イチからわかる臨床検査値活用術 ポケット正常画像AtoZ			
評定方法			準備物・注意事項			
定期試験100%			生理学Ⅰ・Ⅱのノートを毎回持参すること			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
物理療法学		専門科目	Ⅱ部2年	演習	30	1
担当教員		実務経験				
辻 宏文		急性期病棟・維持期病棟・整形外科クリニックにて8年間従事。				
講義概要						
温熱・寒冷・電気などによる刺激(物理的手段)が生体に及ぼす影響を学び、各物理療法の目的や適応、禁忌について学習する。						
講義目標						
【一般目標】	温熱や寒冷、電気などの刺激が生体にどのような影響を及ぼすのかを理解する。					
	各物理療法の目的や適応、禁忌について理解する。					
	教員の指導のもと、物理療法機器を体験する。					
【行動目標】	物理的手段が生体に与える影響を列挙・説明できる。					
	各物理療法の目的や適応、禁忌について列挙・説明できる。					
	物理療法機器の使用方法について列挙・説明できる。					
回数	授業内容					
1	物理療法総論					
2	温熱療法に必要な物理学・生理学					
3	ホットパック・パラフィン浴の理論と実技					
4	水治療法の理論と実技					
5	極超短波療法の理論と実技					
6	超音波療法の理論と実技					
7	寒冷療法の理論と実技					
8	前半まとめ①：理論					
9	前半まとめ②：実技					
10	光線療法の理論と問題演習					
11	電気刺激療法・バイオフィードバック療法の理論と実技①					
12	電気刺激療法・バイオフィードバック療法の理論と実技②					
13	牽引療法の理論と実技					
14	まとめ					
15	後期末試験					
指定教科書			参考図書			
PT・OTビジュアルテキスト エビデンスから身につける 物理療法			EBM物理療法 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 物理療法学・実習 標準理学療法学 物理療法学			
評価方法			準備物・注意事項			
期末試験100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる バインダー持参			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ		選択科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員		実務経験				
弘 美佐子						
講義概要						
各種代替医療について学習する。 メディカルアロマ、スポーツアロマ、リンパ浮腫ケアを学習する。						
講義目標						
【一般目標】	全身の骨格・筋肉の解剖学を理解する。 スポーツアロマを理解する。 リンパ浮腫ケアを理解する。					
【行動目標】	全身の骨格・筋肉の名称・役割を列挙できる。 アスリートに対するアロマセラピーの適応と禁忌を列挙できる。 リンパ浮腫に対するアロマセラピーの禁忌と適応を列挙できる。					
回数	授業内容					
16	リハビリテーションにおけるアロマセラピーの活用					
17	上肢の骨格・筋肉解剖学概論 / 上肢セルフケア					
18	下肢の骨格・筋肉解剖学概論 / 下肢セルフケア					
19	スポーツと芳香療法					
20	スポーツアロマ(運動前)					
21	スポーツアロマ(運動前)					
22	女性アスリートの三主徴					
指定教科書			参考図書			
精油テキスト アロマセラピーテキスト			なし			
評価方法			準備物・注意事項			
成績: 前期50%+後期50%=100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる バスタオル、ハンドタオル(お風呂で体を洗うサイズのもの) ※精油の取り扱いは必ず教員の指示に従うこと 連絡先: bodymall.335@gmail.com			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ		選択科目(必修)	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員		実務経験				
宮原 隆登						
講義概要						
臨床現場で実施する理学療法評価『MMT』を実践し、臨床応用法を学ぶ						
講義目標						
【一般目標】		患者特性に応じたMMTを実施できる。 患者特性に応じたMMTのリスク管理ができる。				
【行動目標】		疾患を考慮した上で検査項目の順序を立案し、実施できる。 疾患を考慮した上で検査を実施する上でのリスク管理が説明できる。				
回数	授業内容					
9	MMT実技演習					
10	MMT実技演習					
11	MMT実技演習					
12	MMT実技演習					
13	MMT実技演習					
14	MMT実技演習					
15	MMT実技演習					
16	MMT実技演習					
指定教科書			参考図書			
なし			新・徒手筋力検査法			
評価方法			準備物・注意事項			
グループワークの成果物:100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 実技練習・試験時は、安全に行えるよう細心の注意を払うこと			

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 後期 講義要領

科目名		科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ		選択科目(必修)	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員		実務経験				
辻 宏文						
講義概要						
整形外科疾患や中枢神経系疾患の症例を踏まえ、理学療法評価で用いる検査・測定の技術を学習する。						
講義目標						
【一般目標】	検査・測定の意義や目的、方法を考察する。					
	検査・測定の評価過程や注意事項などを考察する。					
	測定に伴う、ポジショニングの設定や技術を考察する。					
【行動目標】	各測定の目的や方法などを述べることができる。					
	各検査・測定が効率よく実施できる。					
	検査・測定に伴う、被検者のポジショニング設定や身体介助に配慮し実施できる。					
回数	授業内容					
8	ROM測定（下肢）					
9	ROM測定（下肢）					
10	ROM測定（体幹）					
11	ROM測定の実技試験演習					
12	バイタルサインの実技試験演習					
13	バイタルサインの実技試験演習					
14	バイタルサインの実技試験演習					
15	バイタルサインの実技試験演習					
指定教科書			参考図書			
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学			理学療法評価学			
評価方法			準備物・注意事項			
グループワークの成果物:100%			実技の服装は【講義に関する注意事項】に準じる 聴診器など講義で使用する物品（授業前に連絡します）			